



古今東西 犬の文学史

By よしお

犬は古くから人間に飼われた動物で、家の番や猟に協力したり、あるいは友だちとして人に仕えてくれました。古今東西の犬にまつわる小説・随筆・民話をご覧ください。



『犬と人のいる文学誌』

小山慶太著、中公新書、2009

50を過ぎて犬にとりつかけてしまった教授の
犬にまつわる文学史紹介

日本の名隨筆76『犬』

江藤淳編、作品社、1989

川端康成・室生犀星ら日本の有名作家による
隨筆32編

『世界の犬の民話』

日本民話の会・外国民話研究会編訳、
三弥井書店、2009

犬・狼・コヨーテ・ジャッカルまで載っています